

# 資料-2

(仮称) 大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出計画 (案)

第1回検討会議

## 2. 計画地の現況と課題

## 2. 計画地の現況と課題

### 2-1. 大磯駅周辺の歴史

#### (1) 沿革

- ・大磯駅前広場の主な歴史の出来事

時代	年月日	大磯駅前広場関連の歴史
明治	1887(明治20)年7月	大磯駅停車場営業開始。
	1910(明治43)年5月	2代目駅舎が竣工。
大正	1923(大正12)年9月	関東大震災で大磯駅は全壊
	1924(大正13)年10月	震災復興、3代目駅舎が竣工。
昭和	1962(昭和37)年	町にて日本国有鉄道から負担金をもらい、コンクリート舗装の歩道整備を行った。
	1963(昭和38)年3月	大磯駅広場舗装工事
	1977(昭和52)年1月	神奈川中央交通(株)、町西部地区からのバス大磯駅乗り入れ開始。
	1979(昭和54)年5月	駅前風月改装新築オープン。
1979(昭和54)年10月	駅前タクシー乗場雨除け完成(大磯町申請)。	
平成	1994(平成6)年	町にて駅前広場南側歩道を改修整備。
	1995(平成7)年	町にて駅前広場北側歩道を改修整備。
	2008(平成20)年4月	大磯駅バリアフリー化工事(エレベーター・エスカレーター)が完成。
	2014(平成26)年3月	駅前広場東側に大磯町営駅前自転車等駐車が完成

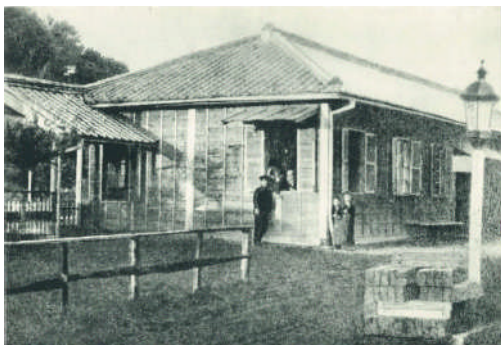
出典：「大磯の歴史 7 通史編 近代化」  
「おおいそ駅史 (S54年)」に加筆

### 2-1. 大磯駅前広場等の歴史

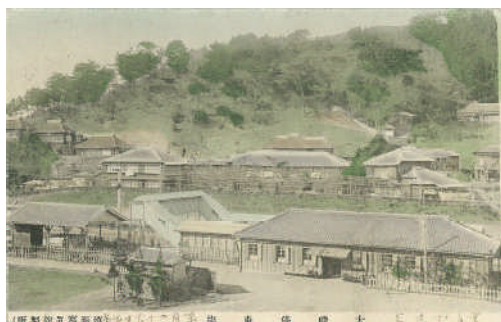
#### (2) 大磯駅前周辺地区の変遷

##### ①明治期

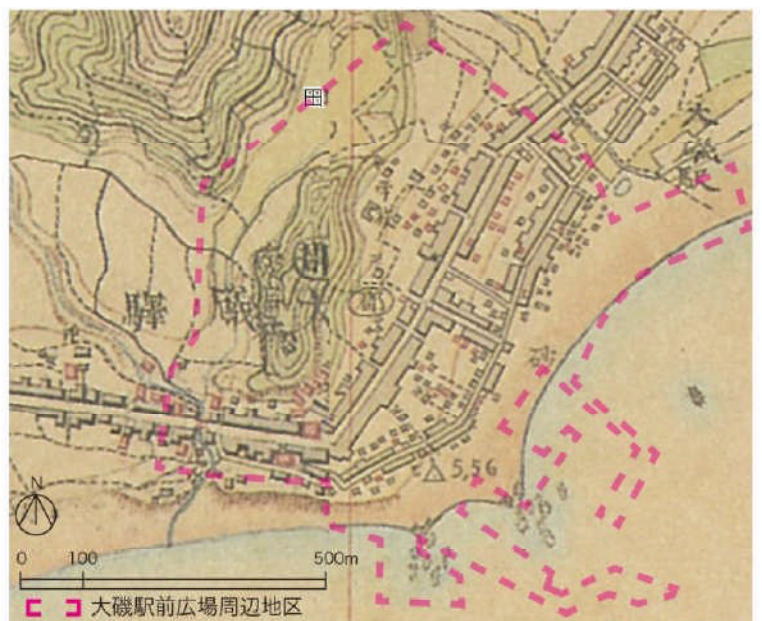
- ・明治18年に日本で最初の海水浴場として大磯海水浴場が開設。
- ・明治20年に大磯駅が開業し、保養地として多くの別荘が建築され始めた。



初代駅舎 (開業当時)



初代駅舎 (明治38年頃)



明治前期測量2万分1フランス式彩色地図 (明治15年)

※写真は、大磯町郷土資料館より提供

## 2-1. 大磯駅前広場等の歴史 (2) 大磯駅前周辺地区の変遷

### ②大正期

- ・ 明治43年に2代目駅舎が新築された。
- ・ 大正12年の関東大震災により駅は全潰状態となった。
- ・ 倒壊した駅舎は、大正13年に建て直し、現在の3代目駅舎が完成した。



2代目駅舎（大正6年）



駅舎の被害状況（大正12年）

※写真は、大磯町郷土資料館より提供

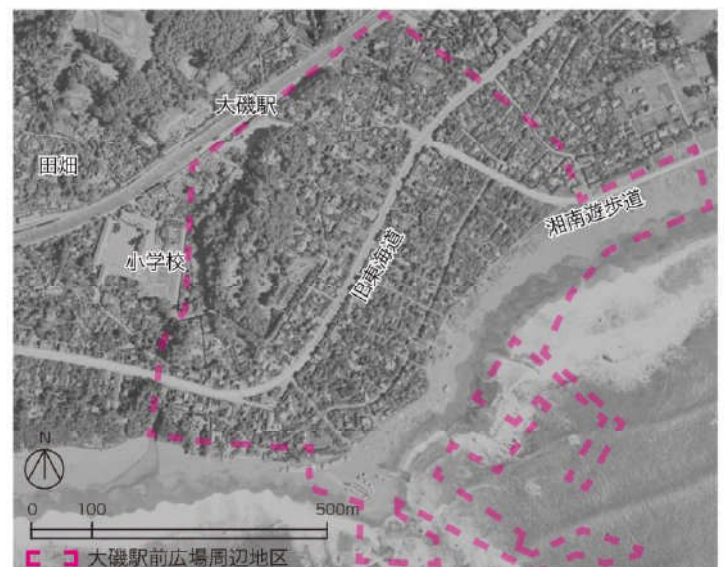
## 2-1. 大磯駅前広場等の歴史 (2) 大磯駅前周辺地区の変遷

### ③昭和初期

- ・ 昭和11年に片瀬龍口寺前(現藤沢市)から大磯郵便局前に至る湘南遊歩道(現国道134号線)が開通し、観光事業の基盤整備が行われた。



3代目駅舎（昭和3年）



国土地理院地図航空写真閲覧サービス（昭和21年）  
ほぼ現在のまちの骨格が形成されている

※写真は、大磯町郷土資料館より提供

## 2-1. 大磯駅前広場等の歴史 (2) 大磯駅前周辺地区の変遷

### ④昭和期

- ・昭和38年に駅前広場の舗装整備が行われた。



3代目駅舎（昭和30年頃）



国土地理院地図航空写真閲覧サービス（昭和36年）  
田畑は住宅に替わり、港湾整備が始まる

※写真は、大磯町郷土資料館より提供

## 2-1. 大磯駅前広場等の歴史 (2) 大磯駅前周辺地区の変遷

### ⑤現在

- ・駅前広場はタクシーやバスの出入りが多く、大磯の観光地を巡る拠点の1つとなっている。



3代目駅舎（平成29年）



国土地理院地図航空写真閲覧サービス（平成19年）  
住宅地の緑が減少している

## 上位計画、関連計画等

 駅前広場関連

番号	年月日	項目	作成者等
(1)	平成13年12月	大磯町にふさわしい駅前周辺の整備構想 (大磯駅前まちづくり検討会提言書)	大磯駅前まちづくり検討会
(2)	平成20年3月	大磯駅周辺の安全安心のまちづくりを求める決議	神奈川県中郡大磯町議会
(3)	平成20年6月	安全・安心のまちづくりのため大磯駅周辺の道路・歩道整備を 求める要望書	区長連絡協議会会長、 漁業協同組合組合長
(4)	平成21年3月	大磯町景観計画	大磯町
(5)	平成23年3月	大磯町バリアフリー基本構想	大磯町
(6)	平成26年2月	大磯町における景観・観光資源の再生・利活用検討調査業務 委託	大磯町
(7)	平成26年7月	大磯駅前用地の利活用方策について（答申）	大磯駅前用地利活用検討委員会
(8)	平成26年8月改訂 (平成25年8月制定)	大磯町 新たな観光の核づくり基本計画	大磯町 新たな観光の核づくり推進本部
(9)	平成27年3月	自転車ネットワーク計画	大磯町・二宮町・中井町におけ る自転車通行空間検討会
(10)	平成28年3月	大磯町第四次総合計画後期基本計画（これからの大磯）	大磯町
(11)	平成18年3月 (平成28年6月一部見直 し)	大磯町まちづくり基本計画	大磯町
(12)	平成29年2月	大磯港みなとオアシス（賑わい交流施設）基本構想	大磯町

## 2-2. 過年度までの計画確認

## (1) 大磯町にふさわしい駅前周辺の整備構想

-大磯駅前まちづくり検討会提言書-

(平成13年12月 大磯駅前まちづくり検討会)

検討会として整備構想を提言し、これを踏まえ町に対して速やかな駅前周辺の整備構想の策定を要望。

整備構想として下記内容（抜粋）が示される。

## 第1条 総則

- ・ 自然や文化や歴史との調和の優先を重視。
- ・ 美しい景観を努めて保全し修復するべき。 等

## 第2条 利便性・機能性・安全性

- ・ 公共性の高いものを優先し、安全性に配慮すべき。
- ・ 歩行者優先やバリアフリー等人に優しいものであるべき。 等

## 第3条 景観・雰囲気

- ・ 広告や看板はガイドラインを設けるとともに電線は地中化することが望ましい。 等

(2) 大磯駅周辺の安全安心のまちづくりを求める決議  
(平成20年3月 大磯町議会)

大磯町の玄関にふさわしい駅周辺の整備をどう進めるか、安全性の根拠に基づいたまちづくりを町が責任をもって進めることを要望。

- ・ 県道大磯停車場は、急坂で道路幅が狭く、歩道は、人や自転車のすれ違いにおいて危険な状況である。
- ・ 町道48号線は、歩道の整備もなく、車のすれ違いが難しい。
- ・ 町所有の石垣は、道路側面に迫り、地震や台風による崩壊の危険が予測される。

(3) 大磯駅バリアフリー基本構想 (平成23年3月 大磯町)

- ・ 公共施設が多く立地している大磯駅南側の区域を重点整備地区とする。
- ・ 道路特定事業(生活関連経路)は、「移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める省令」で定めた道路構造となるよう努める。



【神奈川県管理道路に関する事業計画と整備スケジュール】

番号	名称	整備区分	主な事業内容	整備スケジュール			備考
				前期 5カ年	後期 5カ年	将来	
3	県道大磯停車場線	A	「移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める省令」に出来るかぎり準じた整備を行います。	●	●	●	歩道整備計画(片側歩道も含む)について地元調整が必要であり、また、用地買収を伴います。

【大磯町管理道路に関する事業計画と整備スケジュール】

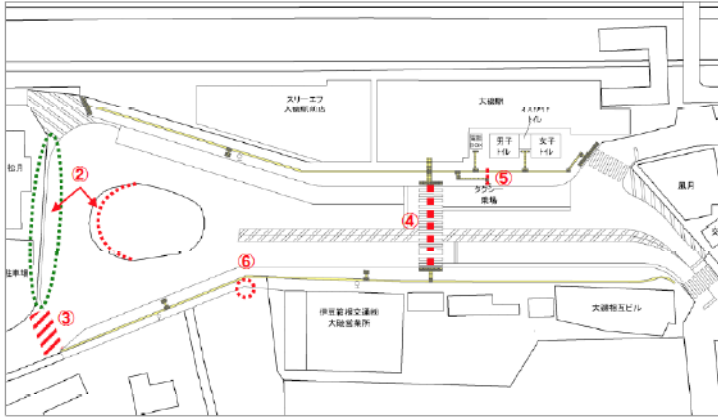
6	幹線12号線	A	「移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める省令」に出来るかぎり準じた整備を行います。 局所的にあるグレーチングのボルト部分に蓋掛けをし、杖等による「引っ掛かり」を解消します。 誘導ブロックを敷設します。	●	●	●	拡幅のための用地確保が困難な状況です。そのため、交通流の変更等を視野に入れて検討します。
---	--------	---	---	---	---	---	--

(3) 大磯駅バリアフリー基本構想 (平成23年3月 大磯町)  
駅前広場

【大磯駅前広場に関する事業計画と整備スケジュール】

項目	番号	主な事業内容	整備スケジュール			備考
			前期 5か年	後期 5か年	将来	
広場内の施設配置	①	駅前広場に接続する県道大磯停車場線と幹線12号線における歩道確保のため、一方通行化を検討する場合には、広場内の施設計画のあり方を同時に検討します。	●			駅前広場は、JR 東日本の単独広場であるため、JR 東日本との協議が必要になります。
歩道設置	②	交通島を縮小し、駅広西側での歩道設置を検討します。	●			同上
横断歩道関連	③	幹線12号線と駅との接続箇所における横断歩道の設置を検討します。	●			②の「歩道設置」が実施される場合に対応します。
	④	広場中央部の横断歩道にエスコートゾーン <sup>※</sup> を設置することを検討します。	●			駅前広場は、JR 東日本の単独広場であるため、JR 東日本との協議が必要になります。
誘導ブロック	⑤	タクシー乗場への誘導ブロックの設置を改良します。	●			JR 東日本及び事業者との協議が必要になります。
その他	⑥	広場南側の境界杭の飛び出しを埋め込み式に改善します。	●			JR 境界杭のためJR 東日本との協議が必要になります。

(大磯駅前広場内の案内図)

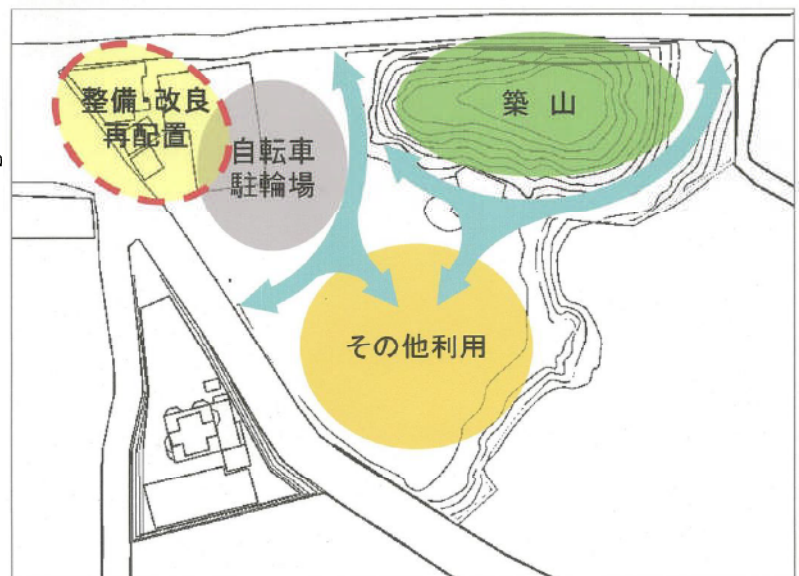


(4) 大磯駅前用地の利活用方策について (答申)  
(平成26年7月 大磯町駅前用地利活用検討委員会)

土地利用のゾーニング

大磯駅前用地は、町の玄関口の顔となる重要な場所にあることを重視し、以下の点を踏まえた土地利用を図ること。

- ・ 憩いや交流の場となるための利活用
- ・ 景観や自然などの特性や魅力の尊重
- ・ 歩行者や自転車等利用者への安全安心な対応

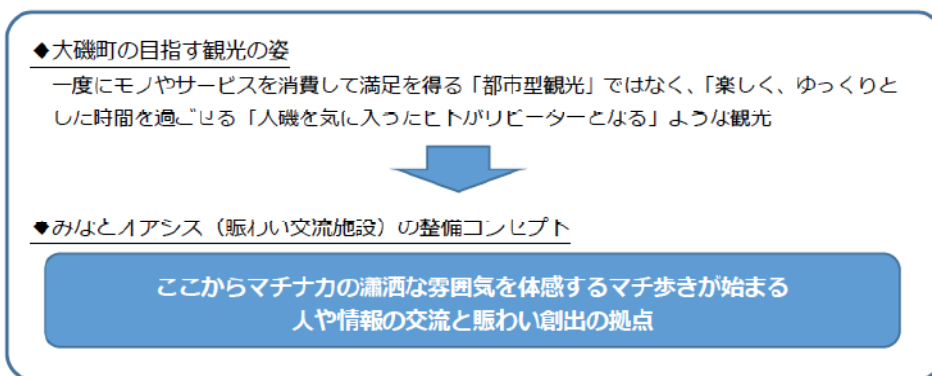


(5) 大磯港みなとオアシス（賑わい交流施設）基本構想  
（平成29年2月 大磯町）

① 「みなとオアシス事業の概要」

「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、港湾管理者からの申請に基づき、国土交通省港湾局長により認定・登録されたものをいいます。

② 整備コンセプト



(5) 大磯港みなとオアシス（賑わい交流施設）基本構想  
（平成29年2月 大磯町）

③ みなとオアシスエリアの設定 「みなと下町エリア」

「大磯駅から大磯港までの「みなと下町エリア」を含む、下図のような範囲を「みなとオアシスエリア」に設定します。



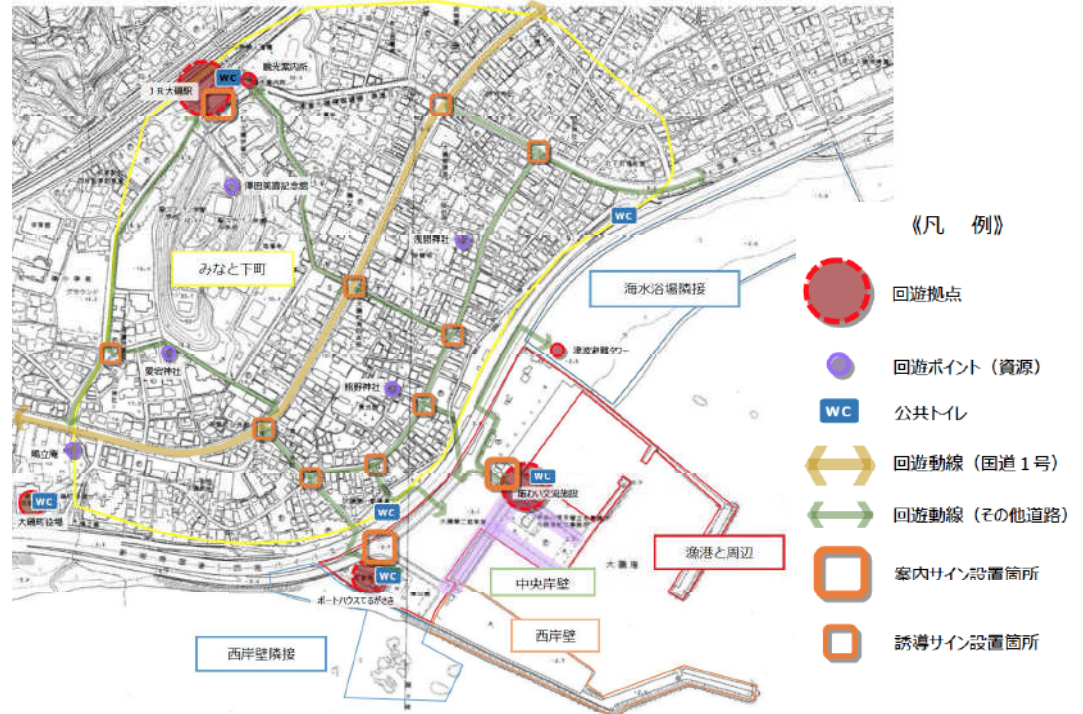


(5) 大磯港みなとオアシス（賑わい交流施設）基本構想  
（平成29年2月 大磯町）

④ 動線計画（広域回遊路イメージ（案））

津波避難や広域回遊を考慮し、エリア全体における回遊路を設定。

・自由に利用できるトイレの設置や案内サイン・誘導サインの設置を検討する必要がある。



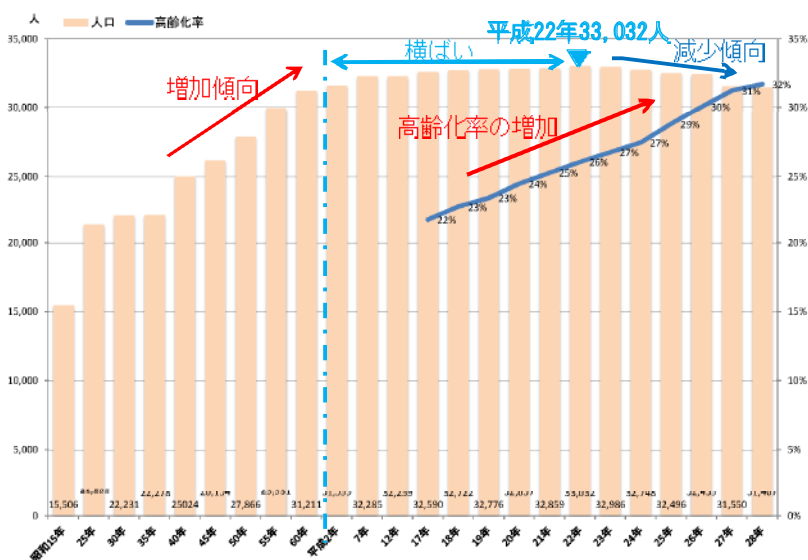
2-3. 計画地の現況調査

(1) 人口・入込観光客数とJR大磯駅乗車人員の動向

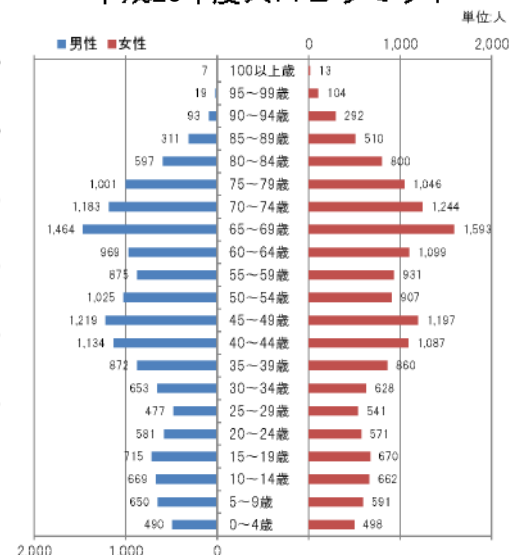
① 人口

- ・平成28年人口は、31,467人。
- ・平成22年の33,032人をピークとして、その後減少傾向。
- ・65歳以上の高齢者人口が増加しており、少子高齢化が進んでいる。
- ・町の将来人口は、2020年度（平成32年度）に33,000人を想定。

人口及び高齢化率



平成28年度人口ピラミッド



## 2-3. 計画地の現況調査

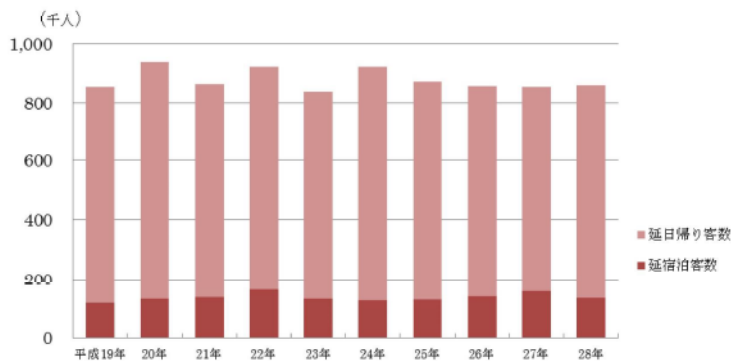
### (1) 人口・入込観光客数とJR大磯駅乗車人員の動向

#### ② 入込観光客数

- ・大磯町の平成28年度観光客数は86万人。近年はほぼ横ばいで推移。
- ・平成28年月別入込観光客数は、7, 8月で年間の43%を占めている。

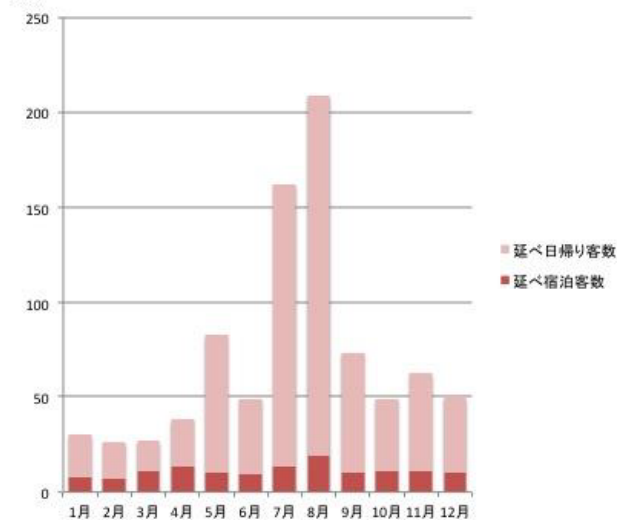
#### 入込観光客数の推移

- ・平成29年4月に旧吉田邸が再建しオープンしたことから、観光客数は増加が見込まれる。



出典：平成28年度版 大磯の統計より

#### 平成28年月別観光客数の推移



出典：神奈川県観光振興対策協議会の入込観光客調査より

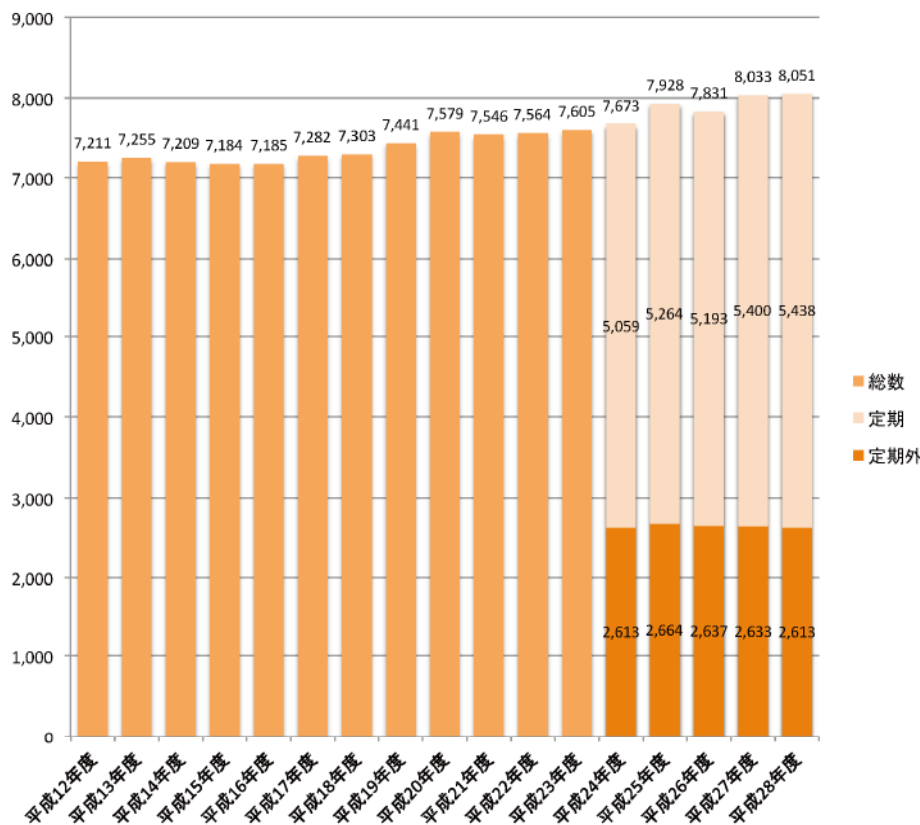
## 2-3. 計画地の現況調査

### (1) 人口・入込観光客数とJR大磯駅乗車人員の動向

#### ③ JR大磯駅の乗車人員

- ・大磯駅の2016年度1日平均の乗車人員は8,051人である。
- ・その内、定期利用者が5,438人(約68%)で、定期外利用者が2,613人(約32%)となっている。
- ・推移は、2000年度7,211人と比べて17年間で約800人増加している。

#### JR大磯駅1日平均乗車人員



出典：(株)JR東日本ホームページより

## 2-3. 計画地の現況調査

### (2) 土地利用規制等

#### 土地利用規制等一覧

- ・駅前広場及び周辺地区の土地利用規制等を一覧表に整理する。

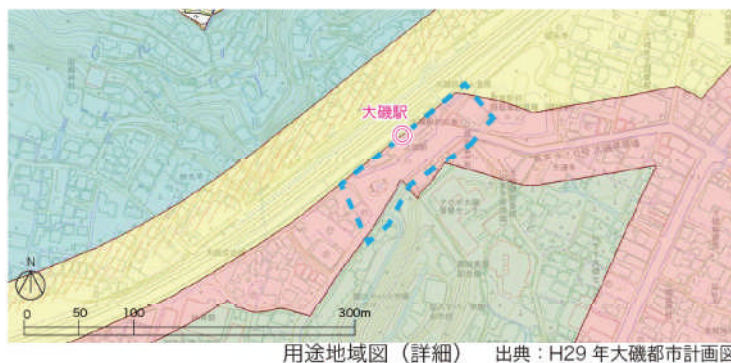
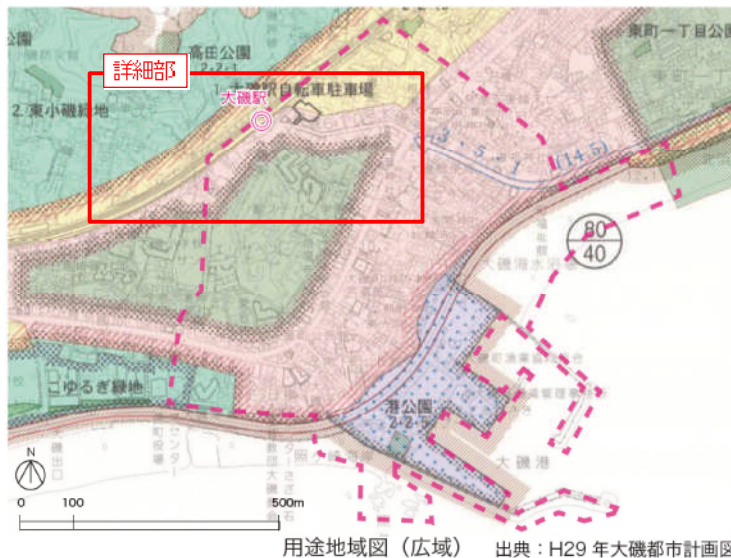
#### ■土地利用等規制一覧表

項目	大磯駅前広場	大磯駅周辺地区
1.用途地域等	—	市街化調整区域 (西湘バイパス南側)
	市街化区域	市街化区域
	—	第一種低層住居専用地域(町役場周辺)
	—	第一種中高層住居専用地域
	第一種住居地域	第一種住居地域
	近隣商業地域	近隣商業地域
	—	準工業地域・臨港地区
2.建築関連	高度地区(最高限第2種・15m)	高度地区(最高限第2種・15m)
	準防火地域	準防火地域
3.都市計画道路	—	国道134号線(3・5・1)
4.災害警戒区域	—	津波浸水想定 (国道1号線より南側)
	—	土砂災害警戒区域(急傾斜地)
5.文化財	N0.159遺跡:縄文時代 散布地 (町営駅前自転車駐輪場一帯)	有

## 2-3. 計画地の現況調査

### (2) 土地利用規制等

#### ①用途地域図



凡 例	用途地域 種別・番号	用途地域の 面積(㎡)
—	都市計画区域(行政区)	
—	市街化調整区域	
—	第一種低層住居専用地域	10
—	第一種中高層住居専用地域	
—	第一種住居地域	
—	第二種住居地域	
—	近隣商業地域	
—	準工業地域	
—	工業地域	
—	準防火地域	
—	公園・緑地	
—	自転車駐輪場	
—	汚物処理場	
—	ごみ処理場	
—	都市計画河川	
—	都市計画道路	
—	都市計画道路 (自転車専用道路)	
—	流域下水道汚水幹線	
—	公共下水道汚水幹線	
—	市街化区域及び 公共下水道排水区域	
—	地区計画区域	
—	高度地区 (最高限第1種)	13
—	高度地区 (最高限第2種)	15
—	臨港地区	
—	特別用途地区・風致地区	
—	特別緑地保全地区	

- 大磯駅前広場周辺地区
- 大磯駅前広場

## 2-3. 計画地の現況調査

### (2) 土地利用規制等

#### ②埋蔵文化財包蔵地

- ・駅前広場周辺地区の一部は埋蔵文化財包蔵地等となっている。



No.	遺跡名	時代	種別
22	大磯駅東横穴群	古墳時代	横穴群
23	人磯駅前横八群	古墳時代	横八群
25	愛宕山横穴群	古墳時代	横穴群
26	愛宕山下横穴群	古墳時代	横穴群
94	大磯小学校遺跡	縄文時代 - 古墳時代 奈良 平安時代	遺物散布地
153	旧岩崎家別邸 貯水施設	近代 (明治)	近代屋敷地
159	No.159 遺跡	縄文時代	散布地

〔 〕 大磯駅前広場周辺地区

埋設文化財包蔵地位置図

出典：『大磯町史 10 別編 考古』付図 大磯町域の遺跡

## 2-3. 計画地の現況調査

### (2) 土地利用規制等

#### ③土砂災害警戒区域

- ・駅前広場周辺地区の一部が土砂災害警戒区域（急傾斜地）に指定されている。



土砂災害警戒区域図

出典：H28 年大磯町土砂災害ハザードマップ